

研究機関名：東北大学

受付番号：	2013-1-107
研究課題名	主膵管狭窄を伴う慢性膵炎症例に対する膵管ステント留置術の臨床効果の検討 —全国多施設協同調査—
研究期間	西暦 2013年 6月（倫理委員会承認後）～ 2014年 3月
対象材料	<input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（調査票）
上記材料の採取期間	西暦 2012年 4月～ 2013年 5月
意義、目的	2012年4月より主膵管狭窄を伴う慢性膵炎症例に対する膵管ステント留置術が保険治療として認可された。この治療の臨床的効果を検討するために、後向き調査として全国アンケートを行い現状の状況を確認する。
方法	対象： 2012年4月～2013年3月までに初回の膵管ステント留置術を施行された慢性膵炎症例（保険認可前の2012年4月以前に膵管ステント留置術を受けた患者は除外する）。観察期間は2013年5月末までとする。調査参加施設は30施設程度、各施設の対象症例は5例程度の見込み。 方法： 1) 難治性膵疾患に関する調査研究班の研究分担者、研究協力者の所属施設、並びに下記分担研究者の所属施設に、一次調査票を送付し、調査参加意向の有無、内視鏡的膵管ステント留置術施行の有無、対象症例数を確認する。 2) 対象症例のある調査参加施設に個人調査票を郵送する。 3) 調査票は東邦大学医療センター大森病院消化器内科で集計、解析し、学会発表、論文発表を行う予定である。
問い合わせ・苦情等の窓口	東邦大学医療センター大森病院消化器内科 五十嵐良典 FAX: 03-5767-5147 E-mail: naishikyo@med.toho-u.ac.jp 東北大学病院消化器内科 難治性膵疾患に関する調査研究班 代表者 下瀬川徹 TEL: 022-717-7171 E-mail: suizo@gastroente.med.tohoku.ac.jp